

S064

KSJAPR1-A2304

セイコーウオッチ株式会社

SEIKO

取扱説明書

INSTRUCTIONS

S064 ストップウオッチ アプリケーション

目次

1	はじめに	2	ラップごとにメモをつける	14
1-1	こんなことができます	2	データの CSV 形式保存について	16
1-2	パソコンの動作環境について	2	データを削除する	17
2	準備		3-5 CSV 形式で保存されたデータを確認する	18
2-1	アプリケーションをインストールする	3	3-6 ストップウオッチ本体の操作	19
2-2	アプリケーションをアンインストールする	5	ストップウオッチ本体の時刻を	
2-3	NFC リーダー [SVAZ015] を		パソコンの時刻と同期する	19
	パソコンに接続する	5	ストップウオッチ本体のメモリーを	
2-4	アプリケーションを		すべて削除する	20
	起動する/終了する	5	ストップウオッチ本体の充電残量を	
3	操作		モニターする	21
3-1	画面の説明	6	3-7 複数のストップウオッチを管理する	22
3-2	ストップウオッチ本体から		複数台のストップウオッチの	
	データを転送する	8	接続のしかた	22
	データを転送する	8	ストップウオッチの削除	23
	再読み込み	10	4 データの「統合」、「移動」	24
3-3	データをアプリケーションで管理する	11	4-1 「統合」	25
	データを確認する	11	4-2 「移動」	26
	データにメモをつける/		5 困ったときは	28

1 はじめに

1-1 こんなことができます

本アプリケーションは、セイコーウオッチ株式会社製 NFC データ通信ソーラーストップウォッチ【SVAJ701】（キャリア NO：S064）用のアプリケーションです。
【SVAJ701】で取得したデータの確認、加工、CSV 形式での保存ができます。
また、ストップウォッチ本体の時刻あわせ、ラップメモリーの削除、ソーラー充電残量のモニターができます。

1-2 パソコンの動作環境について

Windows®7、Windows®8、Windows®10、Windows®11 に対応しています。
本アプリケーションのダウンロードにはインターネットの接続環境が必要です。
また、通信用機器として専用の NFC リーダー【SVAZ015】（別売）が必要です。
モニターの解像度は「1024 × 768」以上の設定でご使用ください。（アプリケーション画面は「810 × 711（固定）」です。）

2

画面の説明に沿って、インストールしてください。



- ※自動でデスクトップにアイコンが作られます。
- ※アプリケーションを保存するフォルダが選択できます。取得されたデータはアプリケーションと同じフォルダ内に保存されますので、再インストールなどで保存するフォルダを変更する場合は、過去の保存データの移動などが必要になります。

4

2 準備

2-1 アプリケーションをインストールする

Windows®7、Windows®8、Windows®10、Windows®11 に対応しています。
セイコーウオッチ株式会社のホームページより本アプリケーションがダウンロードできます。
（日本語 OS 版）「S06 アプリケーション（日本語）」
（英語 OS 版）「S06 アプリケーション（英語）」

<https://www.seikowatches.com/jp-ja/products/stopwatch/linktopc/download>
ダウンロードする際に、使用する言語（日本語 / 英語）が選択できます。

- ※両方の言語のアプリケーションを同時にインストールすることはできません。
- アプリケーションの言語を変更する場合、一度アンインストールしてから再度インストールしてください。
- ※OS の言語にあわせて選択してください。
- OS 言語とアプリケーションが一致していない場合、アプリケーション上の表記の一部が正しく表示されません。
- OS が日本語版の場合 アプリケーションは（日本語版）を選択してください。
- OS が英語版の場合 アプリケーションは（英語版）を選択してください。

3

2-2 アプリケーションをアンインストールする

コントロールパネルの「プログラムと機能」からアプリケーションを選択し、画面の指示に従ってアンインストールします。

ファイル名：S06 Stopwatch

- ※パソコンに保存されたデータはこの操作では削除されません。データを削除する場合は、保存先のフォルダから削除してください。
- ※デスクトップアイコンは自動で削除されます。

2-3 NFC リーダー【SVAZ015】（別売）をパソコンに接続する

NFC リーダー【SVAZ015】をパソコンの USB ポートに接続してください。リーダー上面の緑色のライトが点滅し、受信待ち状態であることを示します。

- ※接続を解除する場合は、OS の指示に従ってください。
- ※NFC リーダー【SVAZ015】はセイコーウオッチ株式会社製 NFC データ通信ソーラーストップウォッチ【SVAJ701】以外の NFC 機器との接続は保証していません。

2-4 アプリケーションを起動する／終了する

デスクトップのアイコン、もしくはスタートメニューからアプリケーションを起動します。
終了はアプリケーションの「終了」ボタンを押してください。

5

3 操作

3-1 画面の説明(上段)

メニューバー

ストップウォッチごとにタブが自動生成されます。タブの表示は任意に変更できます。

カレンダー: 取得データがある日付は太字で表示されます。

取得データ: カレンダーで選択した日付に対応し、その日の取得データをブロックメモリー単位で取得した時間ごとに表示します。

削除: 選択した取得データを削除します。

全データ: 保存された CSV ファイルの一覧を見ることができます。

6

3-1 画面の説明(下段)

計時データ: 取得データの詳細を表示します。ラップごとにメモをつけることができます。

情報: 現在選択されている取得データの情報を表示します。トータルタイム、ラップ数、ベストラップ No、ベストラップタイム、平均ラップタイム

メモ: 取得データにメモをつけることができます。

時刻同期機能: 接続したストップウォッチ本体の時刻をパソコンの時刻にあわせてます。機能を使用しない場合は、チェックをはずします。

終了: アプリケーションを終了します。

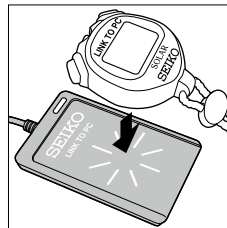
充電残量表示: 接続したストップウォッチ本体の充電残量を表示します。

7

3-2 ストップウォッチ本体からデータを転送する

データを転送する

NFCリーダー【SVAZ015】とパソコンの接続を確認のうえ、アプリケーションを起動します。
転送したいデータがメモリーされているストップウォッチ本体を NFC リーダーの上に乗せてください。
「ピッ」と音が鳴り、まだ転送されていないデータをアプリケーションへ自動で転送します。



取得データ

2014/06/17	14:30:15
2014/06/17	14:52:30
2014/06/17	15:43:18

取得データ

2014/06/17	14:30:15
2014/06/17	14:52:30
2014/06/17	15:43:18
2014/06/17	16:12:07

転送されたデータのリストが増えます。

8

※自動で転送されるデータは未転送のデータが対象となります。ストップウォッチ本体にメモリーされている転送済みのデータを再度転送する場合は「再読み込み」メニューから行います。

※ストップウォッチ本体が次のような場合はデータが転送されません。

- ・クロノグラフ計測中
- ・データが未確定状態 (ストップウォッチ本体のメモリーに書き込まれていない状態)
- ・ストップウォッチ本体が PS (パワーセーブ)、SL (スリープ) モードになっている時
- ・ストップウォッチ本体の充電が不十分な時
- ・ストップウォッチ本体が時刻修正などの修正モードである時
- ・近くに金属や他の NFC 機器などがある場合

9

再読み込み

NFCリーダー【SVAZ015】とパソコンの接続を確認のうえ、「再読み込み」メニューを押します。

転送したいデータがメモリーされているストップウォッチ本体を NFC リーダーの上に乗せてください。

「ピッ」と音が鳴り、ストップウォッチ本体にメモリーされているすべてのデータをアプリケーションへ転送します。データ転送後は、ストップウォッチ本体を NFC リーダーから外してください。

※再読み込みできるのはストップウォッチ本体にメモリーされているデータのみです。

※重複するデータは上書きされず、先に読み込んだデータが残ります。

※ストップウォッチ本体には、最大で 300 本のラップタイムがブロック単位でメモリーされています。メモリーが 300 本を超える場合は自動的に古いメモリーから削除され、一旦削除されたメモリーは復元できません。ご使用に際しては都度データの転送を行い、必要なデータが削除されないようご注意ください。

3-3 データをアプリケーションで管理する

データを確認する



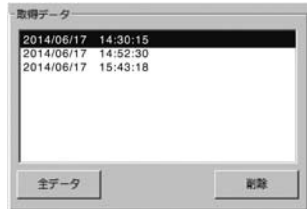
確認したいデータを取得した日付を、カレンダーから選択します。

太字で表された日付がデータの登録されている日付です。



日付を選択すると、その日に取得したデータが取得データボックスに取得時刻順に表示されます。

※取得時刻はストップウォッチ本体の時刻と連動しています。



確認したい取得データを選択すると、計時データボックスに詳細が表示され、情報欄にラップ数などの情報が表示されます。



データにメモをつける／ラップごとにメモをつける

本アプリケーションでは、「取得データ全体」と「計時データの各ラップ」のそれぞれにメモを付けることができます。

「ラップメモ」または「メモ」の部分をダブルクリックして、メモを記入してください。

「取得データ」 記録全体に関するメモを付けることができます。200文字まで入力できます。

例：「スイミングスクール 個人メドレー練習記録 太郎君 2014/06/17」、など

「計時データ」 個々のラップに関するメモを付けることができます。それぞれ20文字まで入力できます。

例：「(LAP1)バタフライ、(LAP2)背泳ぎ、(LAP3)平泳ぎ、(LAP4)フリー」など



※書き込んだメモは自動で CSV ファイルに反映されます。

データの CSV 形式保存について

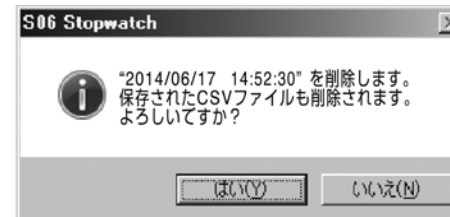
データは CSV 形式で自動保存されます。保存された CSV ファイルは「全データ」ボタンから確認できます。



- ※ファイル名は自動的に生成されます。【SSW 取得日付_取得開始時刻_ストップウォッチ本体 ID 番号】
- ※CSV ファイルは「読み取り専用」となります。データを加工する場合は別名で保存の上「読み取り専用」を解除してから作業してください。
- ※元のファイル名を変更した場合、本アプリケーションでは読み込みなくなることがあります。ファイル名を変更する際には十分にご注意ください。

3-4 データを削除する

「取得データ」から削除したいデータを選択し、「削除」ボタンを押して削除します。



- ※一度削除したデータは元に戻せませんので十分にご注意ください。
- ※対応する CSV データも削除され、復元できませんので十分にご注意ください。
- ※ストップウォッチ本体のメモリーに残っているデータは、「再読み込み」メニューから再度読み込むことができます。

3-5 CSV 形式で保存されたデータを確認する

「全データ」ボタンを押して、CSV ファイルの一覧を確認します。

- ※ファイルの名前は【SSW 取得日付_取得開始時刻_ストップウォッチ本体 ID 番号】となっています。元のファイル名を変更した場合、本アプリケーションでは読み込めなくなることがありますのでご注意ください。
- ※ CSV ファイルはデータ保護のため「読み取り専用」設定となっています。データを加工する場合は別名で保存の上「読み取り専用」を解除してから作業してください。
- ※ CSV ファイルを開いて加工する場合は、必要に応じてファイルを開くプログラムを選択してください。

3-6 ストップウォッチ本体の操作

ストップウォッチ本体の時刻をパソコンの時刻と同期する

アプリケーションの「ストップウォッチ本体の時刻を PC の時刻と同期する」にチェックを入れてください。データ転送の時に、パソコンの時刻にストップウォッチ本体の時刻を同期します。

時刻の同期を行わない場合はチェックを外してください。



※時刻同期はデータ転送のタイミングごとに行います。

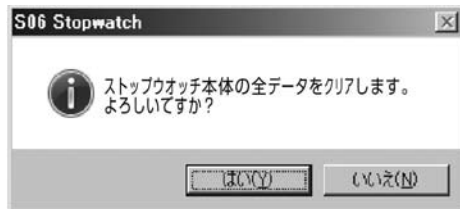
※パソコン本体の時刻が標準時刻と合っていないと、正確な時間を表示しませんのでご注意ください。

※ストップウォッチ本体単独でも時刻合わせはできます。詳しくはストップウォッチ本体の取扱説明書をお読みください。

ストップウォッチ本体のメモリーをすべて削除する

NFC リーダー【SVAZ015】の接続を確認してください。

「ストップウォッチクリア」メニューを押します。



メモリーの削除を行うストップウォッチ本体をリーダーに乗せてください。

「ピッ」と音が鳴り、ストップウォッチ本体に保存されているすべてのラップメモリーが削除されます。

※一度ストップウォッチ本体から削除したメモリーは復元できません。削除するときは十分にご確認ください。

※アプリケーションに保存されたデータはこの操作では削除されません。

ストップウォッチ本体の充電残量をモニターする

データ転送を行うタイミングで、ストップウォッチ本体の充電残量をモニターできます。



アプリケーションの下段に充電残量の目安が表示されます。残量の状況に応じて充電を心がけてください。

アプリケーション表示	状態	機能制限	本体表示
■■■■■	十分に充電されています。	なし	■■■■■
□■■■■	充電されています。	なし	■□■■■
□□■■■	充電されています。	なし	■■■□■
□□□■■	充電を心がけてください。	なし	■■■□■
□□□□■	充電してからご使用ください。	通信音無し	■■■□■
□□□□□	充電してからご使用ください。	通信不可	■■■□■ (枠線のみ)

3-7 複数のストップウォッチを管理する

本アプリケーションでは最大 100 台までのストップウォッチ【SVAJ701】の接続が可能です。ストップウォッチ本体に個別設定されている ID 番号によりストップウォッチを識別します。アプリケーションに認識された順に自動でタブを作成し、ストップウォッチごとのデータ管理をすることができます。

複数台のストップウォッチの接続のしかた

通常の手順でデータ転送をしてください。ストップウォッチ本体の ID 番号を自動で認識し、新しいストップウォッチが検出された場合はタブを自動で作成します (タブの名称はそのパソコンでの認識順に SSW-01、02、03... と自動振り分けになります)。
※タブの名称はそのパソコンで認識した順の自動振り分けになりますので、同じストップウォッチを使用する場合でも、パソコンによって認識する順番が異なればタブの名称も異なります。

22

4 データの「統合」、「移動」

パソコンに保存管理しているデータを移動する場合は、データの「統合」、もしくは「移動」を行います。

「統合」 複数のパソコンで管理している同じストップウォッチのデータを、ひとつにまとめて管理する。

「移動」 あるパソコンで管理していた全データを、別のパソコンに移して管理する。

【注意】 「統合」「移動」の操作を行う場合は、大切なデータの保護の為、必ずバックアップをお取りください。特に「移動」を行う場合、移動先のパソコンの元データは全て破棄されて上書きされますので十分にご注意ください。

24



ストップウォッチの ID タブはアプリケーションで個別に書き換えることができます。表示されているタブを右クリックして「名前の変更」を選択し、書き換えてください。20 文字まで登録が可能です。

例：SSW-02 → 2 年生用

※書き換えたタブ名称は CSV ファイルに反映されません。アプリケーションでのデータ閲覧時の表示でのみ有効です。

ストップウォッチの削除

アプリケーションに登録したストップウォッチと、そのストップウォッチで取得したデータの削除ができます。表示されているタブを右クリックして「削除」を選択してください。

※削除したストップウォッチで取得したデータも削除されます。削除されたデータは復元できませんので十分にご注意ください。

23

4-1 「統合」

複数のパソコンで管理している同じストップウォッチのデータを、ひとつにまとめて管理する。

- ① 統合したいデータが保存されているパソコンのアプリケーションを起動します。
- ② 統合したいデータが保存されているストップウォッチのタブを選択後、「全データ」ボタンをクリックしてエクスプローラを開きます。
- ③ 統合したいデータ (CSV ファイル) を選択して、USB メモリー等にコピーします。
- ④ 統合する先のパソコンのアプリケーションを起動します。
- ⑤ ②と同じストップウォッチのタブを選択後、「全データ」をクリックして、エクスプローラを開きます。
※この場合の「同じ」とは、「ID 番号」が同じストップウォッチを示しています。アプリケーションで表示されるタブ名は、それぞれのパソコンに登録した順番で自動振り分けになります。そのため、同じストップウォッチでもパソコンごとに異なることがあります。必ず、ファイル名から「同じ ID 番号」のストップウォッチを確認し、そのタブを選択してください。
【ID 番号】 【SSW 取得日付_取得開始時刻_ストップウォッチ本体 ID 番号】
- ⑥ ③でコピーしたデータをエクスプローラ上で貼り付けます。
※同名のファイルがある場合「上書き」をするかの確認画面が現れます。上書きを選択した場合は、ラップメモなどアプリケーションで書き加えた情報が更新されますので十分にご注意ください。
- ⑦ アプリケーションを再起動してください。

25

4-2 「移動」

あるパソコンで管理していた全データを、別のパソコンに移して管理する。

- ① 移動元のパソコンのアプリケーションを終了します。
- ② 移動元のパソコンのデスクトップのアイコンを右クリックし、「ファイルの場所を開く (I)」をクリックしてエクスプローラを開きます。
※スタートメニュー 「すべてのプログラム」→「SEIKO」→「S06 Stopwatch」の右クリックからでも同様です。
- ③ SEIKO S06ssw フォルダ内の、以下のファイルおよびフォルダ全てを、USB メモリー等にコピーします。

S06ssw.dat (アプリケーションシステムファイル)
SSW-01 (ストップウォッチデータフォルダ)
SSW-02 (ストップウォッチデータフォルダ)
⋮

(登録したストップウォッチ数に応じて、フォルダ数は異なります)

SSW-01	2014/07/17 19:15	ファイル フォル...
SSW-02	2014/07/08 13:51	ファイル フォル...
S06ssw.dat	2014/07/17 19:15	DAT ファイル

※必要に応じて移動前のデータのバックアップを作成してください。

- ④ 移動先のパソコンのアプリケーションを終了します。
- ⑤ 移動先のパソコンで、②と同様の手順でエクスプローラを開きます。
- ⑥ 移動先のアプリケーションでデータが保存されている場合は、以下のファイルおよびフォルダ全てを削除します。

S06ssw.dat (アプリケーションシステムファイル)
SSW-01 (ストップウォッチデータフォルダ)
SSW-02 (ストップウォッチデータフォルダ)
⋮

(登録したストップウォッチ数に応じて、フォルダ数は異なります)

SSW-01	2014/07/08 9:30	ファイル フォル...
SSW-02	2014/07/08 13:51	ファイル フォル...
S06ssw.dat	2014/07/08 14:00	DAT ファイル

※データが保存されていない場合も、移動先にある「S06ssw.dat」ファイルは削除してください。

- ⑦ ③でコピーしたデータをエクスプローラ上でSEIKO S06ssw フォルダ内にコピーします。
- ⑧ アプリケーションを再起動してください。
※ストップウォッチのタブ番号は、移動元のアプリケーションで登録された番号を継承します。

5 困ったときは

症状	原因
アプリケーションが起動しない	アプリケーションファイルが破損した可能性がある。
アプリケーション表示で言語が混在している	OS とアプリケーションの言語が異なっている。
ストップウォッチ本体からデータが転送されない	計時データがない。 未転送のデータがない。 ストップウォッチ本体の表示が消えている。
	ストップウォッチ本体が計測中である。
	ストップウォッチ本体の充電が不十分である。
	NFC リーダー【SVAZ015】以外のリーダーを使っている。
時刻同期ができない	アプリケーションの「ストップウォッチ本体の時刻を PC の時刻と同期する」にチェックが入っていない。
ストップウォッチ本体の時刻がずれている	パソコンの時刻がずれている。
CSV ファイルの加工ができない	データ保護のため「読み取り専用」で保存されている。

処置
アプリケーションをアンインストールしてから、再度インストールしてください。
OS の言語と同じバージョンのアプリケーションをインストールしてください。
タイム計測などを行ってからデータ転送してください。
転送済みのデータを転送する場合は「再読み込み」から転送してください。
ストップウォッチ本体が PS、もしくは SL モードになっています。いずれかのボタンを押して起動状態にしてください。
計測中など、確認していないデータは転送されません。計時終了後、データ確定した後に転送してください。
ストップウォッチ本体を充電した後に転送してください。 ※リーダーには充電機能はありません。
専用の NFC リーダー【SVAZ015】(別売)をお使いください。
チェックしてください。
パソコンの時刻を正しく合わせるか、ストップウォッチ本体で時刻修正してください。
別名で保存の上、「読み取り専用」を解除してから加工してください。

データ転送がうまくいかない場合は、以下の項目をチェックしてください。

- ・クロノグラフ計測中でないか？
- ・データが未確定状態（ストップウォッチ本体のメモリーに書き込まれていない状態）でないか？
- ・ストップウォッチ本体が PS（パワーセーブ）、SL（スリープ）モードになっていないか？
- ・ストップウォッチ本体の充電が不十分でないか？
- ・ストップウォッチ本体が時刻修正などの修正モードでないか？
- ・NFC リーダーが正しくパソコンの USB ポートに接続されているか？
- ・NFC リーダー上面の緑色のライトが点滅しているか？
- ・金属机や他の NFC 機器などが近くにないか？

※既に転送済みのデータを転送する場合、「再読み込み」からの転送になります。
※ストップウォッチ本体から削除されたデータは転送できません。

・アフターサービスについて

お問い合わせの際に、「ご使用中の OS 名と、バージョン」「ご使用中のパソコンの機種」を伺うことができます。予め確認の上、お問い合わせください。

■本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがございます。ご了承ください。

■アプリケーション操作相談センター（旧セイコースポーツ商品サービスセンター）
047-320-3004

■セイコーウォッチ株式会社
<https://www.seikowatches.com/>